

都道府県名:青森県 氏名:関 和典

地域

青森県西目屋村は、津軽地域の西部に位置し、総面積は246.02km²、標高120mで津軽穀倉地帯の主要水源である一級河川岩木川の源流域となっています。昭和56年には、暗門の滝が県立自然公園の指定を受け、平成5年には、白神山地が日本ではじめて世界自然遺産に登録されています。また、平成28年10月に津軽ダムが完成したことにより、「白神山地と津軽ダム」を有する村として、「世界遺産と水源の里」をキャッチフレーズに様々な地域振興策を展開しています。

略歴

平成18年 2月 ~ 現在	西目屋村長
平成18年12月 ~ 平成27年 7月	東北ダム事業促進連絡協議会 幹事長
平成21年 5月 ~ 現在	ダム・発電関係市町村全国協議会青森県支部 支部長
平成23年12月 ~ 現在	ダム・発電関係市町村全国協議会 常任理事
平成27年 7月 ~ 現在	東北ダム事業促進連絡協議会 監事
平成29年 7月 ~ 現在	青森県河川砂防協会 理事

功績内容

- ・村長就任後、村内諸団体、有識者などから構成される「津軽ダム水源地域活性化協議会」を組織し、ダム建設の重要性と早期完成を村内外に積極的に発信し、工事着手から8年での早期完成に大きく寄与した。
- ・完成後は、「津軽ダム水源地域ビジョン」の振興策の一つであるダムツーリズムを強力に推進し平成29年度には、津軽白神湖(ダム湖)を活用しての水陸両用バスを東北で初めて導入。1年後には乗客1万人を達成(30年末2.7万人突破)し、人口1,400人の村を活気付けている。
- ・カーヌーによる地域振興にも尽力し、現役オリンピック選手を村職員として迎え入れ、イタリアチームの東京オリンピック事前合宿誘致など様々な振興策を発信し続けている。

役場庁舎垂れ幕
(津軽ダム完成前)



津軽白神号 (水陸両用バス)
スプラッシュ



役場庁舎垂れ幕
(津軽ダム完成後)



乗客1万人達成の様子



2020東京五輪 イタリアカーヌーチーム
事前合宿協定調印式の様子

